約束され

一月十八件。十二月二十三件 合計百二十八件。である、而 してこの外質料の刊行及び組 布、ツ聯紙及び支那紙蒐集整 商ポスターの蒐集貸出等に大 車輪の活動を示してるが、同 所の健脱内容の充實は一般人

金融方法の議 (ハンビンセニ日奏國典) 黒 間江省各地の縣長。参事官 商務館代表等約六十名参集し で仕二日霊地中央銀行標上に 終て黒龍江省本年来の收穫大 豆に對する金融方法に興する 整調が行はれたが。その結果

新站の

名、(六十戸)群人五百名(百 を敷贴は現在の人口日人三百 を敷贴は現在の人口日人三百 を敷贴は現在の人口日人三百

月) 日蓝月生

宜

酒

製作人 製作人 印刷人

銀器

年 の 回 顧

全市は警戒に専念 に備

新京署を通じて見た一年

かつたこさは實に育ぶべきこがなる好成績を掛け幸にして常なる好成績を掛け幸にして常なる好成績を掛け幸にして 受は列車内 「果家北二日産の通)明年七月一日より施行の砂定のメートル法は物第の都合上施行額で決定上奏明裁さなり、閣議で決定上奏明裁さなり、閣議で決定上奏明裁さなり、閣議で決定上奏明裁さなり、閣議で決定上奏明裁

内所の質績

組織に關

松岡洋右氏聲明書養表

政黨解消聯盟

取扱つた本年一月以来十一

・ 死亡二十八名の増加であ

するき共に左の如く解明した (東京図通) 松明洋右氏は既

解するに歪つた私は、今回 無に政黨を脱退し代請士を 乗に政黨を脱退し代請士を

信を天下に間はんごするものを組織的國民運動を通じて所観なるものを組織し、此の概なるものを組織し、此の概以が、此の

開校以來本月二十五日記に於

であるが。近く〇〇総司令和 依戌病院、機關庫等竣工の略 年名に増加する見込みであり 新站驛は毎列車二百名以上の 乗為客を呑吐して新興新站の 随動を物語つて書る 術戌病院、機關庫⇒竣工の晩であるが。近く○○縁司令節 調査資料二千三百十二、定明ので各輪深方面に提出するさ 案内所は本年度の事務終了い務所を施設した議問時機事情 一月十八日新京記念館内に基金本甲級東軍特務部員合に基金本甲 刊行雑誌類二十十五種のある

計画、各地方事情法令、空通 かに清別經濟建設事情、企業 次に清別經濟建設事情、企業 次に清別經濟事情が最多で、 による紹介は百六十八件に上せる者は千二百四十六名書面

して進みたいさ念願して。

の現狀を受ふるの人は凡」を向じくし、真面目に祖

同期より三全三風の職員であ で順月より八風低落。前年 〇で順月より八風低落。前年

を可決

果株整理案

北鐵當局に

問題で折衝

兄を慰め、かづける言葉に解した。 ちゃうど、その時であつた。 徳 で、ナラと他一の方へ投げて行います。そして際的しに、その男が通った。そして際的しに、その男が通りの眼が、理ふやうな無味の感い観り

親、て來て、中途から、なにも言へなり。 別をこめて、別れの言葉をいりの。別をこめて、別れの言葉をいいなっ

四名の保藤廢産を行つた結果一ク月に亘つて五萬六千五十一日前 6八月十一日端

(ハルピンセ三日設園通)在ハ日講商職職合書代表は世三日午龍十一時張剛管理職長立會の上パンドーラ副選事長代理の上パンドーラ副選事長代理の上パンドーラ副選事長代理の上パンドーラ副選事長代理を全の上パンドーラ副選事長代理を受し、同答を求める所あつた

大豆に對す

り飛たり間で撃動を縁返してゐる さつまから、もう五六度も行つた ではない。

ちつとも無が付いてるなかつた。 で、 で、中途から、なにも言へな は、でしから、側でを出めている。 をとろが、影戦の場である。 ところが、影戦の場である。 ところが、影戦の場である。 ところが、影戦の場である。 ところが、影戦の場である。 ところが、影戦の場であった。 ところが、影戦の場である。 ところが、影戦の場である。 ところが、影戦の場である。 ところが、影戦の場である。 ところが、影戦の場である。 ところが、影戦の場である。 ところが、影戦のと、 ところが、影戦のと、 ところが、影戦のと、 ところが、 といった。 とい

まだ一度も見たことのない会然知 型に、さかい本部をかりして、 がまと助うして、 関いたの と戦のあたとである。 かんにといる かんにといる けんい 探つてねる 何報を

を解消せんさするものである ・ のでのでは、 関連を ・ のでのである。 ・ のである。 ・ のである。 ・ のである。 ・ のである。 ・ のである。 A 谷時計店 (五十二) 友 芳三郎

音音

でいるとなく心間まり の間を持つて、間もなく成つて来の の間を持つて、間もなく成つて来の の間を持つて、間もなく成つて来の の間を持つて、間もなく成つて来の 競外は、戦つで残され、戦つて

そして競外の上の眼を注いだ伸

であつた。

表民五六寸もあるだらう、野郷の を生やした人物であつた。 一般もやはり雌に行くのか、外野 がもやはり雌に行くのか、外野 がもやはり雌に行くのか、外野 がもかい はんだ外妻と小さい 種から しを小腿に付え、片手には、大い 世の野。この時も所、酸に健良 かの野。この時も所、酸に健良 かの所を、既んで行った。 も、見ないやうな素様をして、他一 の下に知ってゐる。 をおて、野麻麻敷が来た。 やら一上戦ありきうに想はせる。 やがて、野麻麻敷が来た。 のでもた。 公難はブラット・ 見受る人、愛られる人は、他に 見受る人、愛られる人は、他に 見受る人、愛られる人は、他に 見受る人、愛られる人は、他に 見受る人、愛られる人は、他に 見受る人。 としがんだ無様で掲載し てゐる者は無いすうであった。 てゐる者は無いすうであった。 てゐる者は無いすうであった。

五ケ年間延期五ケ年間延期

た、安心も出来なかつた。また、安心も出来なかつた。 花だであるらしいと愛ふべき配

で、きょう・ートにに飛んで行きたい 人の翻から趣つた。神風は、歌々にまで、声風に魅に一感歌から深光里 たん々が睨となく美ましかつた。 をで、声風に懸けるの彼の脚 動き始めた。 で、かいていていてありながら、もはや、で、呼ばから――」 「左側なら、思さん。 関、神つてた。 はっぱいでありながら、もはや、で、呼ばなら、思さん。 関、神つてた。 はっぱいでありながら、もはや、で、呼く降つてください。 きつとは しばいでありながら、もはや、で、呼く降つてください。 きつと # 41

一結婚御披露宴は特に御便誼御圖

一、五百人様迄の御宴會を御引受致

大力二十四日 陸 春 (大和通収引所前

毎度御引立有難毎度御引立有難 正ん之茶財 選 0 増築中の廣間も出來上り

応年會新年御宴會は 好域サービス満點の 内地直輸入東京音頭の 美妓も揃ひました!!

住吉で是非! 住 吉 香一四一三章

は會宴御年新 會席付き呑放題(十人以上) 七品付上酒吞放題 洋食二の膳付き勉强 六十人様密宴會由に階下純金堂に好砕載れてき家庭的御氣分……階上 新鄭清楚にして御氣持よ 曾費金參圓(和一人的) 是非 外仰好に誰じます 樂道食 3 條 0 · 括四人五六卷

と會年忘

に應じます。
に應じます り致し 二十四日 二十五日 間 B Ξ スマス 四十人様迄 倉は ***業** ***** ****** スを致します是非御家族連で御來會を……開店以來の御壁順に励る皆最も實質的サービ 開業披露とし 致します て特に大勉强 正月餅 新宣复二条道》 菓 和 の喜び戴けますプレ 租品ですが御客様に シーを致します 玉 屋 業業電 一八八 町 7

中末は特に輻輳致します故何卒 一月四日 全休 一月二日 全休 一月二日 全休 一月二日 全休 一月二日 全休 二十五日頃までに御注文を御願ひ致します 二十五日頃までに御注文を御願ひ致します 例年の通り年末年始に際し休業致し 毎 度有難う

新京石炭商貯炭場事務所

行行行司局行號行部 三二二五〇三二七五〇三二七六〇一七六八〇東一 佐瀬道・ 後道道・ 三四十一三笠町 三二二三 北大街 二九七四番 现西三丁目

利

茂運

洋搬

新泰仁裕大加泰松同

洋公煤洋 二二九七 水柴町二丁目 二一五大 日本横通り

泰 和新 洋

御降誕 の喜

氣に満ちて 太内山の第 更けゆ

双下の御誕生で帰 気に崩てる(東京化川日嚢國通) 皇太子 廿三日夜は 九日午前九時浴湯の織に始り 命名程吉の儀の御次第は二十る浴湯の儀。御命名の儀。御

水に美しく映え市民の慶ごのれた二重橋の鈴嶺燈はお堀の だまして、長くも天晴に達し、奉祀の聲は大内山の大庾宏と 姿は夜更くる広崎えず。萬歳 奉祀

大統領

廳の祝意 首都警察

開院元

上け、梅林寺坂田の開助産締に村山侍覧が受代に御當宿申 の御様様に拜されたき承る新 の常分は小見科の小山侍衛並 信を動使に傳賞。午前十一時 個名配を 泉太子に撃るこさ 賀表捧呈决定

られ、御熊殿の御近くに御島子様はいく御師かにあら

御睡眠遊ばされ、第一の御鹿衣を召されずや

泉太平御経院の祝礼を移したルーズヴェルト大統領は、 皇太子御降誕で 紀電を發す

新皇子時の御祖母 最太后陛 は御紗内御祀宮遊ばされたが ちゃり御生京の久島神殿下に する、此日 皇太后陛下と始

護婦等が御呼添さして何候

を拜承し二十三日首都警察総大日本農太子殿下御降艇の程 相當の御年配にて陸海軍の前 脱下を始め其他の 皇叛力は 意教力は とれで日本も安泰さ

仰嗣離ばされた。又柳原二

御典は御慶びの氣分に滿ちてに調を給び御祝鮮を替上した 一 墓陛下には三内親王様々御 正様々御

國後

提出されたが、右規主の卅二法額會に甲隊研税改正法案が 項目中断たに採目を細かして

アンナも市慣十割の高率に智力に鉛筆の模様三割か一打一大割に相當するものである。

である

の一種)は従来難じ

「デリー仕一日被河通」印度立

提出された關稅改正法案

張を命ぜられ帰朝早々の着任 塩エジプト。シリア地方に出 産課に入り、最近視馬購買の

新皇子 大日本皇太子の御路院は皇 室の御繁榮さ日本帝國々選 室の御繁榮さ日本帝國々選 に市内警察署

日本國氏の慶びを想ひ全職 皇太子殿 帝國皇太子。

て、一同祝盃を奉け、大日本し御祠を申述べる歳あり終つし御祠を申述べる歳あり終つ び前洲側の萬歳 見頗る濃厚であり、陽画の宿 上でか山法和が全場保に諮っ て奏請すべきや否やを決する こここなる模様である。而し て右は目下死刑執行を持つて である佐縛屋及び丘、一五事件 被与等愛の機性者の叫き政治 犯に對しては全國的に減刑嘆

運動が行はれただけに非常

(東京代四日發國通) 滿城正

る滅域今後の態度は今回首脳の管。而して改組問題に對す

る機能論するとき。特に之 飾みは変通の妨害さならざ

雀躍の市民

裁、山崎理事も年内には幅韻 は弦に大体中で政府には原うして、 植像各官雌さの間にだける折衝。報告に依り改組問題とける折衝。報告に依り改組問題とはない大体中で政府には深さ

確的に関東軍等を折衝はせね 主義の下に領域自身表面に出 主義の下に領域自身表面に出

するいか

引込緑に接觸せざる様智歌等の設備は「選叉は電話の

方針の模様である

を慶祝 民雀階して各戸は御慶事を得て一般市民に将導するや全市の四平街ではデイレンを以つの四平街ではデイレンを以つ

日何心なくラジオに飼れた時 情然にも第一報のニュースが 始められた。それから暫くし があつた。私は今日は何さな があつた。私は今日は何さな (旅順國通) 今日大郎! | 年帰 一門國際によつて! | 十三目の日 一王日一る。何れに だるう。 天皇陛下には全々だなら、我國は勿論領別國及 で東洋平和は別して望まれる を發揮遊ばさるもので辞録さ明治天墓様 のやうな御点積側の後に御補助遊ばされ! 小國氏は非常に随心を以て居 見へてある。御慶事に當り我れるから。我國の難脱は眼に でデリー二十三日最認通」印 の難貨購税改正案を検討す るさ、形式上時慣三割さか五 数さか云ム数字を掲け新従着 数さか云ム数字を掲け新従着 あてさになって思るが、低廉

新關稅法

日英間に盆々大巾な開き

用し失れる一般より一割安さ

最も大なるものである

堀尾農林技師

滿洲國馬政局入

けてるる は推して知るべきだ。 さなつた際

内外の禁止的高率なるのありもの中にはメリヤス其他十割

ス其他十割

るオプタワ、プロックの現れ には何も印度に送れぬ様にす

たは何も印度に送れぬ

かさも観られる

英の差は帰めて大巾で結晶日本からは印棉絵入し、その代

印度立法議會に

法省早

「東京國通」司法省では早く ・刑事局等配官世職を開いて 思教の前例範圍寺に就いて購 を研究を行つたが 基太子殿 下復降職の名せられた御事は 下後つてとの御慶びに向する 思教の行はれた解析は無いが 思教の行はれた解析は無いが 思教の行はれた解析は無いが の件を協議 席の下にいさも戦崩弾は、武田中將、警察署具は、武田中將、警察署具 異和告祭を執行した

閑院宮様 滅戦の車輛工作

在京中の蒲峨々道部工作部長

改組問

題中央に

御嘉賞

お京野操事方 游戲辭令

方然もべく取計ひ乞ふ 右部員各位に傳道

本日開院参謀機長官殿下に

部内に籌備委員會を設立したなり、これが準備のため民政なり、これが準備のため民政

橋内助手を命す(各班) 黑木 谷盛 **敷手した** 社會科長を奉け具体的準備に 司長、副委員長には地方司長向委員長には竹内民歌部總務

中央社會事業

あ九臺縣の大同洋行。同泰 任務順に終て畷重探査中のさる

新

築

せた。

青林、黒雕江三省並に新京。 昭利増進のため、爨に拳天。

行母輪配で打世が身優して戦 重取調べを受けてゐらが、向 での種の不正商人は各縣に且 の相常根盤(はびこつでゐら 弾脈を加へる模様である

住友愛國

開

料

亭

恤兵會に 州萬圓を寄贈

病教性を標榜する愛國性兵會(テテハル國祖)住友は戦仏 に質成して卅萬國を寄贈に決 オランダ汽船

新京梅ケ枝町一丁目

員を救助 住吉丸乘組

オから入港

滞鐵自体は表面に出**ぬ**

にたオランダのチスラー號 に仕吉丸の六名を紋助したが には古丸の六名を紋助したが

氣なしの炬燵に懷爐

落

火事除の熱の神

赤坊、冷、病人の守神

年末の暗答や御病人への側見舞品には持つて來いの品物で

す亦お正月お子供さん方のお願みにも……

保善社所有地を 岡山縣の安田

さしめざるこま。特に大馬六、指電區域外には延済を出

路及曲角に於て行商物品版

飛行場に充當

九。車局に不体裁なる時間を 近行せしめざること 通行せしめざること 七。桑用馬車人力車汽車にて 又は興客勧誘の貧融りに排交通頻繁なる道路に駐車し 魏に連繍せしめるこさ 學校に充てる事に決定し名古 が、離水のため利用に惱んで めたが今回右を飛行編さ飛行 あたが今回右を飛行編さ飛行 き交渉してゐるが、 機三町 き 屋帝國権行事校長や闘绎力帝 経八町の飛行場き、名古屋標

大正天皇祭休刊

豫て磯州總馬政局入りを隠墜

堀尾正朔氏は去る十六日奢任良方面の権威者。 農林省技師

した出に同氏は高種協技場。

刊致します 大正天皇祭につき恒例明二十五日は 大正天皇祭につき恒例

行事校分校が設立される模様 もんさしてみる

10 商店街は十二月五日より一月五日よりの他の場所にありては十二月十五日より翌年一月五 り仕日空掘工事を施行せし 共產黨幹部为氏 國外追放と决定

カリスキーは三ヶ月前その路骨 な煽動宣傳、赤化運動のため 路等署に終て逮捕監禁を受け てるだが、この程愈よ満洲國 【ハルビン関通】 北壁同什河

人事往來

買求め下さいませ!! 總難實店 (贈寫版の附屬品一式) ます何卒御近所で御 電話二四六

二香

三笠町五ノニ 三笠町五ノー 三世町二ノ十五 日本梅田六 日本福岡大九 日本橋通五三 日本情味三ノニ 所 三中井新京支店 曹町二 宮崎洪盛堂藥房東四條加一〇 川上誠昌堂《局景一條通九 生堂 堂 名 房吉野町ニノー fi 新京大和樂房 举杏仁 堂藥房 松本天壽與藥房 大陽堂藥房 金泰明 亞 店房 局



の如く決定して語 臨 以 御 H 納 務 務 務

×

駐滿大使館

市商、林出、花輪、鶴兒の ・大使館附款官、 品 三同補佐 で、後藤、森瀬町武官等を別 ・大使館附款官、 品 三同補佐 で、後藤、森瀬町武官等を別 ・大使館附款官、 品 三同補佐 で、後藤、森瀬町 武官等を別 ・ 大使館附款官、 品 三同補佐 で、 世間 通際官、 井

三日 休 職 三日 休 職 三日 休 職 休息時執為

月八日上海に法住せしむべく住所 同地に潜在する豫宗である。 同地に潜在する豫宗である。 人は出却へのため鏡々南下した。又華北に在つた竇東北要し、又華北に在つた竇東北要 中央軍の飛行機 漳州を爆撃

の料に接するや、菱刈長官は「旅順速通」基本子殿・御路院

菱刈長官

舊東北要人諸準備に當る

つまある

對し率の御叱咤を殺した

皇后兩陛下に

御七日の儀

(東京詞語)

魔弟七日の二十九日に行はれ、東京詞頭) 皇太子殿下御降

程によれば、張泰良は來る一良より舊世北安人に宛てた虹

市民に賞多談死傷を出した「厦門國通」中央軍飛行機は

要を受けるものさみられてる により低に大打撃を受けて皆 により低に大打撃を受けて皆 により低に大打撃を受けて皆 一目別代 を引上けられたもの七。これを詳細に分かてば、實に三」を引上けられたもの七。これを詳細に分かてば、實に三」を開上けられたものはゴム、ゴム靴の漏税を優置二割若しくは從量が取りを記る。 は中で最ら脚者をものはゴム、ゴム靴の漏税を優置二割若しくは從量が見りを

一、左側通行を施行し強りに 車道を歩行せしめざるここ 一、左側通行を施行し強りに 車道を歩行せしめざるここ

出しの廣告店飾乂は松

▲御厨外事課号(福東縣)川上

る交通取締りを指行する事さで年末年始に際し特に戦重なで年末年始に際し特に戦重な

首都警察廳で實施

け日人を店主さして桑鷸脱税 托して巧妙なる産儒契約によ し更に脱 税品を廃留して不

年末年始に

四、費出し其の他臨時に設備する廣告物店頭装飾のは堅中なる材料を用ひ道路を跨中な整理を開発を開び道路を跨上で

特するに非ざれば許可せざ 参選のみに限り私さ増上三 参選のみに限り私さ増上三

一綿布 七割五分を

れてわたら 貨並に從價 を挙行する客であるが個体其も例年の如く厳かなる強拜式を挙行する客であるが国体其 他多数辞列せられたしさ

遙拜式舉行

大正天皇祭 を要するものに在りては必 を受くべし めなるこう

にありては耶郎止むを得ざ るものを除き前項の日限機 道路使用に就きては帰項

日人ど結托の に他じ許可するこさ 一齊彈壓 った

ノ素

焼ノ素

販賣店の Bi所

會誕餌年新忘 た親切………… た親切………… 申して居ります。 來ます

た配者は羽衣町の佐藤宅を訪る一女生徒にそれき聞かされ

れるさ、先づ門に代墓。室の

衆田市耶少將、鷹田利三郎教頭。近臘信竹少將、数官、

く誕生したこさになる。さああつたから正味一味間四分早

は新京時刻の五時三十九分で

感よあすから

第三期特別警戒へ

石喜びを包みきれず奥様に取りさんを愛犬ボテに迎へられて、ボタンを押せば長男の女

た赤ちゃんに乳を摂びなが がけなくもこの最多のお 一连宝一 は丸々太つ いこぎでありながら思

競特ちいたします。 せめて も男の子(二男)を産んだこびさ日も時も同うしてしか 大事に育ても、島恩の萬分 人の各署さる連絡を採ち全員署を揚げ一齊に第三三期警戒に たるこさになった

和會で

開催することになった。別様することになった。思想取締、會員組織に帰

諮問會を開く

立たせようさ今から望んでの一でもお返しするため兵 さしての念題で おります、とれがこの母親 おるが研京中央事務局に於て以来着々その効績を收めつし、満洲関絡和會は昨年七月成立 明二十四日午後二時より

内に母の胸にだかれた領洲丈夫はすやく ご参路をたさつ たはすやく ご参路をたさつ たはすやく ご参路をたさつ 人に代つて夫人は語つてゐる。 -を内の松

頭にあつて、縄東側の事務を 車間合官は、廿六日間まで放

五年春以来新京高等女學校に 五年春以来新京高等女學校に 中を受持つてゐる。 軍隊歲末 11二五九グラム 菱刈將軍

來る廿六日

正月6しく暮すこでは出来ま ・ 世月6しく暮すこでは出来ま も亦正月を戦時親分で遠らねか休まや毎日軍務に補助され ばならぬわけであ は戦時財活にあるので、新年 地方事務所長 III B. から無事な中に一度きつておいませんでしたからなせんでしたからませんでしたからはは長らくの問題単の父母の

同地方係長 山内敬二氏

づくめの正月を人々は一体ごうして暮ず、外づ斯京の名士の新年のブランを聞いて見る ・ 納め候」こ、年始回時で"天下晴れて千鳥足の醉憩を現出"何も彼もお目度 正月、落年一年間の垢をサラリご洗ひ落して「新年の御慶を目出度く申し







なるし、楽しいものです。親出かけます、激は、運動にも

桐福

八時四五分

0



新京知名士に聴くる

どうして過すか

高柳中縣を曾長三する蒲州事

旅順で發會式

軍用犬協會





















「一」)は二十三日午韓九はご がは亭々洋昭抱へ酌婦邸在で

後七 同一 同 同 同 同 5 七年 大 年 八 日 明 八 日 明 八 分 分 分 七時三〇分 六時 〇分

八時 八時 〇分 八時三一分

人築池池池山山水上 光富浩 吉區久

庭はないかさ本社では二十三日早廃から各を磨るしたであた新皇太子殿下御降誕の良き日同じ日に生れる光榮に浴した家 四時三十九分(滿洲時間)玉のやうな男の子が生れた榮譽のの他を各自手別けして捜したさころ、あつたし、きのふ午前庭はないかと本社では二十三日早曉から各産婆さんや醫院そ 女学校佐藤先生宅の喜び 3 間それん〉挨拶のうへ金一封 人分會是6打印れて各隊を訪 を記め屬是代表。在哪家 てゐたが(既に贈ったさあり 玉のやうな男の兒

(可認物便鄉隨三鄉)

を手交すらは中である 五名。大尉五名、機編學生の職員六名と甲種學生少佐、山崎重職中任。田部 機關大尉十三名

=

十五分。

皇太子御降誕時創

一時刻一

出一十三日

月

宅でわる。

夷さんの佐藤き

(三二)さんが自宅で分娩した

=

なきも目出度な家庭さいふの

しの確洲丈夫を分娩したこよ

家庭がある

丁したので愈よ正月前の二十二年の入替。緩房具の改良等終業中にあつた是春盛壁の盤督

長春座艦よ開館

十九日午後一時五十五分來京京出産朝鮮経由観察のうへ二 関一行二十九名は二十三日東海軍大學総員等化の蒲四収祭 で潜京の日程は菱刈繭東軍司で潜京の日程は菱刈繭東軍司の窓内で寬城子戦跡、飛行〇の窓内で寬城子戦跡、飛行〇際、國都建設局、西条園忠魂等なごを訪ひ市内見録することになつてゐるが三十日午前 十時軽ハルピンに同け出載し 日旗順に於て単行日禰官民多一畜犬思想の普及向上をこる閩用犬協會の餐會式は、二十四一數列幣し、満州軍用犬の増殖

新京

に初め

さきなつた

名さ共に脚ムべき計劃を以て四年信禕が街馬車屋を一味四

氏長甲秀瑜さん十五日出生

祭鉄を所持し四平街に侵入し

フジオ

日大仕月二十 日十月一十編

爾友丙收引寅曜

二十五日(月曜日)

るを事前に逮捕されたも

アレベーターがデビユする

戦探中である

6二名逮捕,名は逃走目下したが十四日孤権機自衛團 一味四名の中他の三名は逃

年後五時○分 高 一様の音明(ショード) 一様の音明(ショード) ・様の音明(ショード)

81 TO.

まざれば假は後に返り来る

乙さ丙さ度が苦

巣天的観分にて臨迷すべし 一黒の人 物事に屈托せず

鉈で斬り

つく

大時の分・ユュース(仮京より)

大學二〇分

海軍大學の

視察側顔觸れ

水も洩さぬ警察陣 月一日午前九時帝で再び祈忌 二基を投資することもなつて動で同ピンにはエレベーター 手することになってるる「菱杉の明春早々に上層工事に看 めてエレベーターがデビューをり竣工の時は新京に6ほじ ピルは地下一階。地上四階。 日までに延切した日までに延切した 二菱ビルの大建築

に土地保事業の会衆電話

街||丁目居住の保緒や(三九)

同 同

大學門〇分

□三勢の人 萬事進み行はる

し特は利益を乗ぐる幸選日

(四九九八番)を新殺し

市民利

方に宿し居たる標恵女(二九)

奉天教育研究所 「畑田 ・ 大正で島 宗にな

神が続う分が

道達々繁榮の基さなる吉日四線の人 一家の和合は家

心静かに分限を

二九〇六番である

も被害者兄弟も重傷に屈せず右肩ハク部に傷害を加へたる

四八寺 〇ヶ ニュース (編 第) 四八寺 〇ヶ ニュース (編 第) 日 八寺三〇 寺 寺 程 (東京より) 日 八寺三〇 寺 寺 程 (東京より) 日 八寺四丘 (東京より)

後より苦悶の附離ふ事あり大白の人 安心に過ぐれば

なほ水道学の電話は從和語り用者の便宜を計るこさにした

振り翳して孫緒公にきり付けは突の所持の及従八寸の蛇を

採緒公の頭部に御死の電傷を

事業報告及び大詞三年度の官 本業報告及び大詞三年度の合 本語總務司長の出席を求め、 大詞二年度に於ける協和會の 大詞二年度に於ける協和會の 宮野町一一三丁目 通行制限 ※水道係の公案点話を共用し 新泉地方事務所土地場では従 電話開通 四平街荒し

別等戒は愈よ二十五日から全 満洲関側線粉線長。次長。人事警察職並に管内各署の歳末特 軍側第二、第三。第四課長。新京署。同機倡事館署。首都 中央領東亜産業協質を確認と

市内吉野町一丁目から三丁目 までは商店街は二十四日から 三十一日まで毎月午前九時か ら関甲後十時まで単月前九時か ピューロー主催年末年始休暇既料。ジャパンプーリスト、 青島上海視察の 締切延期 路上に於て密行中の當署刑事際は集帥不審の一満人を發見除は集帥不審の一満人を發見を取到べた處此奴は昌陽縣不審に於て一味十名にて侵入理事情大正街(守備除町)緩和不時大正街(守備除町)緩和下六白國衣類干八百風強奪の千六白國衣類干八百風強奪

午前九時頃常地綱州街廟一偉(四平街支崎後)去る十二日 狂暴な犯人逮捕 週り、再び頭目二十四名を組織し双山縣下1 八百圓衣類三百五十圓 事曲豊恒カに一味八名 たるに戦慄すべき狂感 人店自内永昌を射殺現 日四平街慶安街一丁月 あつたが去る十二月 省の合 金二十 四月九 を開奪 一大戦 闘を演じた婦 は折から急報に接して聴せつけた四年街署員の袋の取押へられたが私怨が晴す島めに殺害せんが私怨が晴す島の袋の取押へられた

つたさ

大同電氣富田 專務設宴

丁を辛ま寅が吉

れば不満も自ら酵散すべし

移轉

移

皆様のお店の

賣

出

八白の人 變化を避け組な

ば自然ご地位品まるべし

改築

祭をかねた殿です 正金支店長

通信配者を揺り一夕の清宴を駐富田専務は二十二日午後五 朝鮮人酌婦の

厭山自殺 二十六 a (火機日)新京 年後五年の分 護店 島太子殿下の御覧生を祝 し申る 同 园 新京 第町小月 校長上 小 種 五時四〇分 五時五〇分 元の三つか

101時1日

二十六日より四日間 本年最終の 大豪華版 本年最終の 大豪華版 本年 植動員の豪華 版

廣告 0 御用 は 電話二三〇〇沓

樣 工 幾人しく仰引立の程 可弱きなし共何卒 十三日 待 即間申上ます: ブランタン 0 開 業

博 応年會新年宴曾の **御相談に應じます** うなぎ 浦焼の水たき 物

鍋物季節に向ひました 御奈族御同伴おこし下さい 會席御料理 式

ある、尚サービスガールの如で豪華版封切り上映の模様で 六日頃開館して公竹さの機 ए त の皮だ主人公は向側を に出來たタフエー「ブランタや席永駿町一丁目花本の向側 で細て女給委せお馴込 したが佛語の春で誠に ン」年来迫った二十四 日條講話 プランタン開 光岡主任 (年後]時間 布教徒 振れ歌 明6か 受り種 業 飲使

拾つた

忘年會

雑誌記者員の

森報知記者

100

のた領機制服オーバー枚を向で馬率上に置き忘れてあ

夫趙搾村氏は二十三日午前 | 城内五馬路二二〇四號馬車

▲老松町大使館々舎で口ひる

計一個等價二十圓を拾つた ろ自宅前でクローム側腕時

■刊三日午前八時三十分ご

後二時ご

▲日本横通一十七番地科亭明 十五国を容馬車上に置き忘れた エコんは二十 窃収された

通五十一番地先で下車の 廿三日午後十時ごろ日本橋 七國余。化粧道具を落した **ルザパフター個在中理金** 州分ごろ新以百貨店前で のまんは二十三日

▲吉野町二丁目二十八番地峯 長春堂こさ峯貞氏所有の自 長春堂こさ峯貞氏所有の自 ▲東一條通二十二番地新京時 三日午後一時二十分ごろ科

▲東五條通五番地森田知年氏 ごろ三〇堂町で現金七十四個

ので仲々評判がよい

0

0

下孔関を落した

ごの吉野町一丁台日 新堂嗣 11郷氏は二十四日午前八時 11郷氏は二十四日午前八時

皆様御待ち兼の 相生開業致しました! 特に勉强致します! 會席料理 割烹

(レストラン箱根命) 大和通 在一大和通 在一

本年最終の大奉仕!!

田 商

吳服太物●夜具蒲團●眞綿●綿 東一條通消防隊横角 暖い店 電話三七二九番

●九紫の人 萬事好都合に選 すると日のは到途する良日戌

~

電話四七 A 五

カフヱー

剿町

食頭樂 在 * 0)

先生の遺場へ行っていらつしゃ

ら、多分もう丸間様に、お目

のお修好しで、いつも便町の由

が変化に共出でな、延の兄さんたら、続きで八重ちゃんと二人、無能なし、 がから、私も少し間でも配い時は がから、私も少し間でも配い時は

程々在庫

直送の・

動さんに聞いた通り、あの金井

55可いけど、鉱井棚は大阪へ

好けりや

さらですと、丸を光生は江戸だ

歌りましたらうよ

殿でも乗いてさる 秘楽味しいお眠

谷種印刷ご製本印刷機械及材料

即小管 北原紙店

| No.

な少し許りの機へは、人の足が向 大変な人出ださうですから、こん

八重ちゃん、お前も夜は遊びだら

美味の

串料理

是非

御試しを!!

心地も良い

は下福も八重が突しと、胸脈は

かないんでせる」

でさらかも知れない。

時にお人工

つくろひ始なんかして、遊んであ

「ニュ店を仕舞ふと夜は自家で

「ちゃア一度、私の兄さん於へ、

市港之縣川石' 仓油 < 植新川岸 會商券系社會式棒

うやん。 二三日前にお前が聞いた

概さんの歌、翔つたかえ

こせん」 「インエピくなつた鱧の帯式なんってると、何うする歌も出来やし 『さう脚壁ひなの』

マペンフ・リス・ ・ 本ペンフ・リス・ ・ 本の所 ・ 本の所 ・ 本ので、一 を ・ 本ので、一 を ・ 本ので、一 で ・ 本ので、 ・ 、 、 本ので、 ・ 本ので

加盟店花

型力セミッ

材料吟味貫目は正しいまかに物を明月の場外します。

さは躍る

・お正月祝餅・

今日は同島のがへ、お客を取ら

たと見えて、此がは限だから、

ってアさう。それで子供歌はない

好いちゃわりませんか。姓し

ねえ人事ち

我も数つて置けませんで……」

「成種ね、私も兄が一人あるんで

大阪商船株式會社大阪商船株式會社

根が大阪液人膝板製内の娘。

て打解けて來ると、もう随實敵

はだって知ってまずよ。お二人の

「あらお願さん、巧く言ってる。

じ小茶屋率公十る身が、から

お八量は永く変女を戦をして、

『でも大阪へ行つたら、住き使

仲な

八百ちゃん、私拉何日かれ続と では、こと

なつてさ。一度何意かへ遊びに ど、時にゐちやア何らする間 りがしたいと思ってゐるん なしで、開送してお了ひなさる所 無強いものね」 だったの、質問に男なんてもの。 「それはお武家様ですもの、何ら 私や機能ない

国に誠實さへ有れば咎なし く意外の失敗をなす衰減日三碧の人 骨折り甲斐もな より見離さる親愛事一の日

●六白の人 網序立ちたる事 たボの人 横道に選れず徐

頭すべく企業閉店普讀等吉 差換べし後日に過を招く 日の入 周旋紹介は一切

いと思つても、御間様に店を持る他でしてられ、お職さんともおび易くし ニエ、兄さ

ニュ、兄さんと言つても、親握ち

質賞ですよ。私も中の製公は初

脚でもお野難しになりませうよ」

「八重ちゃんも見さんがあるの

の如き結局心など、夢にも特た

歌ひな純な女で、

他の茶次み

松二十日・雪はずにあたら。例う

大阪商船出帆

本炭ノ卸及小賣

曜町三ノニニ、滿鐵病院ノ裏 横門三ノニニ、滿鐵病院ノ裏

雨宿りする場所も無き加し 一黒の人 俄か雨に過ぶる 辰さ辛さ亥が吉 辰さ辛さ亥が吉 市 食料品と 配達は飛行式

は

宴會の勉强

道

I

電話三三四三番

和洋家具

●三碧の人 骨折り

文 事 和 . 等 : 古野山銀藤街 用品 2八0边山朝 震放病町深 心愛の ミツ おてん ワ書店

新年宴會は三十人様までお詞日申します

月 雜

理料魚川 鯛博科スツ 鰻 多 ポポ 埋料 水サバマダヤ スキヤキ

道樂とごろき 電三九三六番

v.0

●御一報次第店員参上可仕候●
エ 紫 新京富士町大丁目 電 話 三 七 五 〇 番

煖 設計施行修理 生 房 工事 I 事

鴨すきを 始めました!

寒さ凌ぎに

辯護士 沼田勇法律事務所 電話二一四七番人船町四丁目廿九ノニ

食道樂

だるま壽司

クラブ石鹼の健康美です! 美は輝く

ラ ブ 磨齒 ラ ブ フ ラ フ

冬の洗顔入浴に

お化粧の前に

買上の榮を 國政府本年 大小五種類 關東軍滿洲 替及型五十就型金十七圈。》 炊事兼用三種

代理店仁和洋行 御待望にピッタリ適つた 一大權威の折紙附